

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本赤十字社への申請】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		理学部臨床検査技師養成コース病院実習	石田 智子	東邦大学医療センター佐倉病院 輸血部	臨床検査技師	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ、血漿256.0mL
2		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	新江 賢	杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科	准教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿6バッグ、血漿580.0mL
3		検査用の精度管理用コントロールの製造	山本 恵司	オリエンタル酵母工業(株)	常務取締役 バイオ事業本部長	②	②	検査残余血清1,948,000.0mL
4		茨城県臨床検査技師会による所属施設への輸血検査業務支援(精度管理)	岩田 幸広	(公社)茨城県臨床検査技師会	生命倫理検査部門 輸血・移植検査分野 分野長	①	①	赤血球3バッグ、血漿2バッグ、血漿278.0mL
5		富山県臨床検査精度管理協議会	村上 美也子	富山県臨床検査精度管理協議会	医師	①	①	赤血球3バッグ、血漿475.0mL
6		愛知県臨床検査精度管理調査(輸血検査部門)	藤田 孝	公益社団法人 愛知県臨床検査技師会	会長	①	①②	赤血球1バッグ、血漿3バッグ、血漿692.0mL、検査残余全血8本
7		愛知県臨床検査技師会 輸血検査研究班 基礎講座	藤田 孝	公益社団法人 愛知県臨床検査技師会	会長	①	①②	赤血球2バッグ、血漿241.0mL、検査残余全血42本
8		輸血検査の実習	畠山 真奈美	北海道医学技術専門学校	教員	①	①	赤血球12バッグ、血漿1,127.0mL
9		認定輸血検査技師協議会認定試験	加藤 栄史	認定輸血検査技師協議会	試験委員長	①	①	赤血球32バッグ、血漿24バッグ
10		医学部学生の血液型判定の実習	横須賀 忠	東京医科大学 免疫学分野	主任教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
11		国家検定、収去試験、および規格試験の実施	池辺 詠美	国立感染症研究所	厚生労働技官	①②	②	検査残余全血40本
12		臨床免疫学実習における輸血検査の指導	中村 潤子	埼玉県立大学	准教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿5バッグ
13		抗血小板抗体検出試薬製造に必要な有効期限切血小板製剤について	松本 佳明	ベックマン・コールター・三島株式会社 テクニカルオペレーション2グループ	マネージャー	②	①②	血小板178バッグ、検査残余血清200本
14		マラリア原虫のガメトサイト形成機構の解明	浅井 宏実	北里大学 獣医学部	教授	②	①	赤血球12バッグ
15		輸血検査部門の精度管理	岡本 拓也	一般社団法人 徳島県臨床検査技師会	精度管理委員会 輸血検査部門責任者	①	①	赤血球4バッグ、血漿479.0mL
16		埼玉県医師会臨床検査精度管理事業	金井 忠男	埼玉県医師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ、血漿1230.0mL
17		抗マラリア原虫薬の開発	渡邊 信元	国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター	研究パートタイマーI	②	①	赤血球24バッグ
18		卒前卒後医学教育(輸血検査実習)	山崎 理絵	慶應義塾大学病院 輸血・細胞療法センター	教授	①	①	赤血球6バッグ、血漿2バッグ
19		マラリア原虫感染後の赤血球内部に構築される膜に対する機能解析	早川 枝李	自治医科大学 医学部 医動物学部門	助教	②	①	赤血球17バッグ、血漿6バッグ
20		栃木県臨床検査精度管理調査	長島 徹	一般社団法人 栃木県医師会	副会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿254.0mL
21		輸血・移植検査学実習	登尾 一平	学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学 医学検査学科	講師	①	①	赤血球6バッグ、血漿1バッグ、血漿946.0mL、血小板2バッグ
22		アミノ酸制御による新規のマラリア治療・予防法の開発研究	嘉藤 洋陸	東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座	教授	②	①②	赤血球12バッグ、血漿10バッグ、検査残余血清300本
23		学生実習(輸血検査学実習)	橋本 一郎	徳島大学 医学部	学部長	①	①②	赤血球2バッグ、血漿729.0mL、セグメント全血160本、検査残余全血40本
24		日本輸血・細胞治療学会認定医制度認定試験	石田 明	日本輸血・細胞治療学会	認定医制度審議会 会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ
25		ABO式血液型の判定	古屋 秀樹	山口県警察本部 科学捜査研究所	所長	②	②	検査残余全血144本
26		学生実習(血液型、不規則抗体検査、交差適合試験)	小野寺 利恵	山陽女子短期大学 臨床検査科	准教授	①	①②	赤血球2バッグ、血漿1,419.0mL、検査残余全血21本
27		学生の輸血検査学実習	山田 久	学校法人明経学園 美萩野臨床医学専門学校	教員	①	①	赤血球1バッグ、血漿240.0mL
28		マラリア原虫のゲノム情報に立脚した新規の診断、治療、予防法の開発研究	西川 義文	帯広畜産大学 原虫病研究センター	教授	②	①	赤血球4バッグ
29		石川県臨床衛生検査技師会輸血検査研究班実技研修会	滝野 豊	石川県臨床衛生検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ
30		学生実習(輸血検査)	笠原 聡	新潟薬科大学付属医療技術専門学校	専任教員	①	①	赤血球6バッグ、血漿4バッグ

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
31		大分県医師会精度管理調査(輸血検査)	河野 幸治	一般社団法人 大分県医師会	会長	①	①	赤血球5バッグ、血漿1バッグ、血漿1,368.0mL
32		岡山県精度管理調査(輸血部門)	藤岡 克徳	一般社団法人 岡山県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ、血漿875.0mL
33		臨床検査精度管理調査	倉島 祥子	一般社団法人 長野県臨床検査技師会	精度管理事業部長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿239.0mL
34		山口県精度管理調査	楢林 秀紀	一般社団法人 山口県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、血漿708.0mL
35		輸血・移植検査学実習(神戸常盤大学保健科学部医療検査学科の学生実習)	坂本 秀生	神戸常盤大学 保健科学部医療検査学科	学科長	①	①②	赤血球11バッグ、血漿2バッグ、血漿755.0mL、検査残余全血40本
36		輸血検査学実習	泉田 洋志	京都保健衛生専門学校 臨床検査学科	教務部長	①	①	赤血球8バッグ、血漿2バッグ、血漿595.0mL
37		法医学実務、薬毒物分析センター実務、及び薬毒物分析法確立のため使用する。	岩井 雅枝	愛知医科大学 医学部 法医学	助教	②	②	検査残余全血80本
38		岩臨技輸血・移植部門研修会	高館 潤子	岩手県臨床衛生検査技師会	輸血・移植部門担当	①	①	赤血球1バッグ
39		岩臨技精度管理事業 輸血・移植部門	高館 潤子	岩手県臨床衛生検査技師会	輸血・移植部門担当	①	①	赤血球2バッグ、血漿473.0mL
40		医学教育用	藤好 麻衣	久留米大学病院 臨床検査部	臨床検査技師	①	①	赤血球7バッグ、血漿1バッグ、血漿487.0mL
41		新潟県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技講習会	大倉 一晃	新潟県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	②	検査残余全血17本
42		免疫検査学実習	望月 泰男	昭和医療技術専門学校 臨床検査技師科 教務課	副校長	①	①	赤血球12バッグ、血漿9バッグ
43		九州・沖縄地区臨床検査精度管理事業	柳原 克紀	九州臨床検査精度管理研究会	会長	①	①	赤血球10バッグ、血漿28バッグ、血漿4,487.0mL
44		血液センターから供給を受けた血液を使用した輸血検査実習	長谷川 浩子	千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部	臨床検査技師	①	①	血漿2バッグ
45		新生児マスキリングにおける改善と精度向上	八田 智弘	札幌市衛生研究所	所長	②	①	赤血球1バッグ
46		公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 輸血研究班活動	大塚 真哉	公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会	輸血研究班長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿235.0mL
47		静岡県臨床検査精度管理調査	中島 裕美	静岡県臨床検査精度管理委員会	臨床検査技師	①	①	赤血球3バッグ、血漿704.0mL
48		山形県臨床検査精度管理	佐藤 大亮	一般社団法人 山形県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球2バッグ、血漿443.0mL
49		質の高い輸血学教育研修の実践	大友 直樹	東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター	臨床検査技師長	①	①	赤血球7バッグ、血漿4バッグ、血漿301.0mL
50		本学 輸血検査実習	栗林 浩子	昭和医科大学病院 輸血センター	臨床検査技師	①	①	赤血球84バッグ
51		学生実習(臨床免疫学における輸血検査実習)	国分寺 晃	広島国際大学	教授	①	①	赤血球6バッグ、血漿2バッグ、血漿997.0mL
52		輸血テクニカルセミナー2024実技講習会	岡崎 仁	日本輸血・細胞治療学会	理事長	①	①	赤血球7バッグ、血漿2バッグ
53		二級臨床検査士免疫血清学、緊急臨床検査士資格認定試験および免疫血清学技術講習会	宮地 勇人	公益社団法人 日本臨床検査同学院	理事長	①	①②	赤血球40バッグ、血漿41バッグ、血漿703.0mL、白血球除去フィルター4個
54		佐賀県臨床検査技師会輸血実技研修会	山田 麻里江	(一社)佐賀県臨床検査技師会	輸血部門 生涯教育研修委員	①	①	赤血球3バッグ、血漿464.0mL
55		多項目実用参照物質の作製と評価	篠原 克幸	公益社団法人 日本臨床検査標準協議会	多項目実用参照物質委員会副委員長	①	②	検査残余血清10,000.0mL
56		熱帯熱マラリア原虫人工染色体による遺伝子ライブラリー作製とそれを用いた薬剤耐性遺伝子の同定	岩永 史朗	大阪大学微生物病研究所	教授	②	①	赤血球78バッグ、血漿57バッグ、血漿4,680.0mL
57		感染症流行予測調査	大塚 和子	厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部感染症対策課	感染症情報管理室長	②	②	検査残余血漿85本、検査残余血清1,154本
58		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	稲福 全人	学校法人 湘央学園 湘央医学技術専門学校	校長	①	①	赤血球22バッグ、血漿4バッグ
59		精度改善事業	芹澤 明彦	一般社団法人 神奈川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿7バッグ
60		輸血・血液型検査実習	芹澤 昭彦	一般社団法人 神奈川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球6バッグ、血漿3バッグ

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
61		マラリア原虫の分子細胞生物学的解析および時空間的動態解析	金子 修	長崎大学熱帯医学研究所	教授	②	①	赤血球50バッグ、血漿50バッグ
62		学生教育における血液型実習	塚 正彦	金沢大学医薬保健研究域医学系	教授	①	②	検査残余全血15本
63		輸血教育学	杉山 芳樹	東京医学技術専門学校	学校長	①	①	赤血球12バッグ、血漿11バッグ
64		(一社)島根県臨床検査技師会 精度管理調査 輸血検査部門	領家 敬子	(一社)島根県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿458.0mL
65		佐賀県医師会臨床検査精度管理調査	枝國 源一郎	公益財団法人 佐賀県健康づくり財団	副理事長(臨床検査担当理事)	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、血漿964.0mL
66		滋賀県臨床検査技師会精度管理事業(輸血部会)	西村 好博	(公社)滋賀県臨床検査技師会	滋賀県臨床検査技師会 精度管理委員 輸血部会代表	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿467.0mL
67		広島県臨床検査精度管理調査	松村 誠	広島県医師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿911.0mL
68		精度管理調査用試料として	岡村 明彦	一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、血漿369.0mL
69		滋賀県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技研修会	山中 博之	(公社)滋賀県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門	臨床検査技師	①	①②	赤血球3バッグ、血漿4バッグ、検査残余全血2本
70		輸血移植検査学実習	五十嵐 康之	北里大学保健衛生専門学校	専任教員	①	①	赤血球5バッグ、血漿7バッグ、血漿224.0mL
71		千葉県臨床検査技師会輸血部門精度管理	綿引 一成	一般社団法人 千葉県臨床検査技師会	会長	①	①	血漿266.0mL
72		マラリアワクチンの研究	高島 英造	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター	教授	②	①	赤血球24バッグ、血漿2,773.0mL
73		マラリア原虫の赤血球寄生分子機構の研究	橘 真由美	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター	助教	②	①	赤血球12バッグ、血漿2,834.0mL
74		学生実習(輸血検査)	坂本 央	旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部	部長	①	①②	血漿3バッグ、血漿696.0mL、セグメント全血160本
75		福島県臨床検査技師会 精度管理事業	渡辺 隆幸	福島県臨床検査技師会	精度管理事業部 精度管理委員長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿261.0mL
76		人工赤血球(赤血球代替物)の開発	小松 晃之	中央大学 理工学部	教授	①②	①	赤血球4バッグ
77		医療費適正化効果のある特定健診・特定保健指導の臨床検査に関する効果的エビデンスの提供を保证する精度管理調査試料の作製と活用	横地 常広	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会	代表理事会長	①	②	検査残余血清70,000.0mL
78		マラリア原虫の <i>in vitro</i> 培養系を用いた薬剤耐性研究	中神 朋子	東京女子医科大学	医学部長・公衆衛生学分野基幹分野長代行	②	①	血漿14バッグ
79		医療機器の評価	千葉 弘範	株式会社 常光 医療機器開発部	部長	②	②	検査残余全血50本、検査残余血清50本
80		学生における輸血検査教育・実技講習	池田 和彦	福島県立医科大学付属病院	教授	①	①	赤血球48バッグ
81		初期研修医 輸血検査実習	大崎 浩一	雪の聖母会 聖マリア病院	輸血科 診療部長	①	①	赤血球3バッグ、血漿704.0mL
82		培養熱帯熱マラリア原虫を用いた薬剤標的分子の探索研究	金 恵淑	岡山大学	准教授	②	①	赤血球11バッグ、血漿463.0mL
83		マラリア原虫のオルガネラの解析	野崎 智義	国立大学法人 東京大学大学院 医学系研究科 生物医化学教室	教授	②	①	赤血球24バッグ
84		新生児マススクリーニングの精度管理	但馬 剛	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター研究所 マススクリーニング研究室	室長	②	①	全血674.0mL
85		輸血実技講習会	三平 りさ	公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 学術部輸血検査部門	世話人責任者	①	①②	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿268.0mL、検査残余全血8本
86		東京都臨床検査技師会 輸血レベルの向上を目指した教育的使用 実技講習会	原田 典明	公益社団法人 東京都臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ
87		輸血検査実習	小野 孝明	浜松医科大学医学部附属病院	輸血・細胞治療部 部長	①	①	赤血球24バッグ、血漿4バッグ、血漿3,741.0mL
88		宮城県臨床検査技師会 精度管理調査	岩木 啓太	宮城県臨床検査技師会	精度管理部 部長/輸血検査部門員	①	①	赤血球2バッグ、血漿3バッグ、血漿596.0mL
89		熱帯熱マラリア原虫の赤血球侵入機構および細胞内物質輸送機構の解析	大槻 均	鳥取大学 医学部	教授	②	①	赤血球24バッグ、血漿215.0mL
90		感染症検体パネルの整備	加藤 孝宣	国立感染症研究所	ウイルス第二部室長	②	①	血漿8000.0mL

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の 使用目的 (※1)	献血血液の 区分 (※2)	献血血液の種類、量など
91		石川県医師会臨床検査精度管理調査	安田 健二	石川県医師会	医師	①	①	赤血球4バッグ、血漿946.0mL
92		臨床化学検査の外部精度管理調査における最適な調査試料の作製と評価	酒本 美由紀	一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会	精度管理事業部長	①	②	検査残余血清10,000.0mL
93		学生実習(輸血検査)	重松 康之	大阪医療技術学園専門学校臨床検査技師科	学科長	①	①②	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、血漿525.0mL、検査残余全血8本
94		備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の実用化を目指す研究	酒井 宏水	奈良県立医科大学	教授	①	①	赤血球62バッグ
95		佐賀大学医学部附属病院検査部内の実技講習会	山田 麻里江	佐賀大学医学部附属病院検査部	係長	①	①	赤血球3バッグ、血漿707.0mL
96		輸血研修会試料として使用	手登根 稔	一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会	会長(臨床検査技師)	①	①	血漿522.0mL
97		譲渡血液を用いた輸血移植検査学の実習	山田 武司	愛媛県立医療技術大学 保健科学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿905.0mL
98		輸血検査に係る実技講習会	木田 秀幸	札幌臨床検査技師会	会長	①	①②	赤血球2バッグ、血漿467.0mL、セグメント全血24本、検査残余全血10本
99		臨床検査精度管理調査	加納 康至	一般社団法人 大阪府医師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ、血漿920.0mL
100		学生実習用	三木 浩和	徳島大学病院 輸血・細胞治療部	部長	①	①②	血漿490.0mL、検査残余全血20本
101		埼玉県臨床検査技師会 輸血検査実技研修会	松岡 優	公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球8バッグ、血漿2バッグ、血漿737.0mL
102		免疫検査学実習における輸血関連検査	太田 悦朗	北里大学 医療衛生学部	准教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ
103		臨床検査技師育成課程における輸血検査実習	川村 宏樹	新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科	教授	①	①	赤血球7バッグ、血漿2バッグ、血漿965.0mL
104		卒後臨床研修医輸血検査実習	平野 公通	兵庫医科大学病院 医療人育成研修センター 卒後研修室	室長	①	①	赤血球4バッグ、血漿1249.0mL
105		検査試薬に対する非特異反応等回避への使用	菅 亮彦	株式会社カイノス	研究所 所長	②	②	検査残余血漿300本、検査残余血清2,400本
106		脳梗塞再生治療に用いる骨髓幹細胞培養に使用する血小板溶解物の作成	川堀 真人	北海道大学 大学院医学研究院 脳神経外科教室	講師	②	①	血小板44バッグ
107		歯科臨床検査法における血液成分検査・血液型検査	高浜 克好	三重県立公衆衛生学院	学院長	①	②	検査残余全血4本
108		ヒト末梢血細胞を用いた抗酸菌症の基礎研究	西村 知泰	慶應義塾大学 保健管理センター	准教授	②	①	全血1,748.0mL
109		輸血・移植検査学実習	畑中 徳子	天理大学 医療学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ、血漿249.0mL
110		宮城県臨床検査技師会 精度管理事業	播磨 晋太郎	宮城県臨床検査技師会	精度管理部門員	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ
111		マラリア原虫のライフサイクル分子基盤解明	美田 敏宏	順天堂大学 医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座	教授	②	①	全血18バッグ、血漿20バッグ
112		生命科学部・2年 基礎生命科学実習Ⅲ・学生実習(血液細胞解析法)	平位 秀世	東京薬科大学	教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
113		熱帯熱マラリア原虫の細胞内物質輸送機構の解析	入子 英幸	神戸大学大学院 保健学研究科	准教授	②	①	赤血球9バッグ
114		学生実習及び認定輸血検査技師試験研修	國崎 祐哉	九州大学病院 検査部	検査部長	①	①	血漿704.0mL
115		血中微生物回収方法の検討に用いる試料としての献血血液の使用	井上 聡	ニッターボーメディカル株式会社	メディカル研究開発センター 品質本部長	②	①	全血302.0mL
116		獨協医科大学病院 令和6年度臨床研修医卒後教育輸血検査実習	今井 陽一	獨協医科大学病院 輸血部	部長	①	①	赤血球20バッグ、血漿6バッグ
117		輸血検査実技講習会	羽根 頼子	三重県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①②	赤血球2バッグ、血漿507.0mL、検査残余全血16本、セグメント全血40本
118		学生学内実習	熊取 厚志	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部	教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿224.0mL
119		体外診断用医薬品の品質管理	柿沼 幸利	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社	診断薬カスタマーサポート部 部長	①②	②	検査残余全血432本
120		輸血検査精度管理調査	五来 隆	株式会社カイノス	学術部長	①②	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ、血漿2,053.0mL

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
121		検査技師実習	廣田 雅子	東京工科大学 医療保険学部 臨床検査学科	准教授	①	②	赤血球8バッグ、血漿505.0mL
122		既承認体外診断用医薬品における品質管理試験	殿岡 健太郎	株式会社シマ研究所 薬事部	部長	②	②	検査残余血清400本
123		熱帯熱マラリア原虫のin vitro培養系による病原機構の解明	案浦 健	国立感染症研究所 寄生動物部	室長	②	①	赤血球22バッグ、血漿3バッグ
124		新人臨床検査技師の技能研修	後藤 象悟	独立行政法人 国立病院機構 中国四国グループ	臨床検査専門職	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿264.0mL
125		医学部学生及び臨床研修医における輸血検査実習	豊崎 誠子	東海大学 医学部附属病院	講師	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
126		山梨県医師会精度管理事業	中川 英二	一般社団法人 山梨県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、血漿302.0mL
127		Wakoコントロールサーベイ(輸血検査)	高橋 かおり	富士フイルム和光純薬株式会社 臨床検査薬事業部 臨床検査学術開発本部 カスタマーサポート部 カスタマーサポートセンター	課長	②	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、血漿571.0mL
128		培養マラリア原虫を用いた簡便なマラリア原虫検出システム構築研究	橋本 宗明	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	主任研究員	②	①	赤血球12バッグ、血漿2,828.0mL
129		パルスオキシメータ評価用血液循環シミュレータの開発	久保 寛嗣	日本光電工業(株) 荻野記念研究所	所長	②	①	全血5,920.0mL
130		輸血・移植検査学実習に使用	柴山 修司	つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、血漿261.0mL、セグメント全血200本
131		赤血球期マラリアを用いた新規抗マラリア薬スクリーニング	水上 修作	長崎大学熱帯医学研究所 免疫病態制御学分野	准教授	②	①	赤血球1バッグ
132		京都府臨床検査技師会 実技講習会	相田 幸雄	一般社団法人京都府臨床検査技師会 輸血研究班	班長	①	①	赤血球2バッグ
133		抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染予防モデルの開発とその有効性の検討	水上 拓郎	国立感染症研究所	次世代生物学的製剤研究センター センター長	②	①	血漿10バッグ、血漿10932.0mL
134		輸血検査精度管理	伊倉 基子	三重県臨床検査技師会	輸血検査精度管理班	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿467.0mL
135		輸血検査実技講習会	丸山 晃二	(公社)大分県臨床検査技師会	会長	①	①②	赤血球3バッグ、血漿463.0mL、セグメント全血80本
136		初級者対象輸血検査実技研修会	南部 重一	一般社団法人 富山県臨床検査技師会	臨床検査技師、富山県臨床検査技師会 会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿2バッグ
137		感染症安全対策体制整備事業 輸血の安全性確保を目指した感染症安全対策体制構築のための研究	水上 拓郎	国立感染症研究所 次世代生物学的製剤研究センター	センター長	①②	①	全血2402.0mL、血漿5バッグ
138		精度管理調査における献血血液の利用	渡邊 博昭	(一社)新潟県臨床検査技師会	会長	②	①	全血799.0mL
139		ヘパトカインを標的とした診断薬・治療薬の開発	篁 俊成	金沢大学大学院 医学系研究科	教授	②	①	血漿20バッグ、血漿6950.0mL
140		輸血検査の理解と技術向上	細川 早織	高松赤十字病院 検査部	輸血課長	①	①	赤血球2バッグ、血漿491.0mL
141		臨床免疫学実習	小川 秀一郎	長浜バイオ大学	講師	①	①②	赤血球4バッグ、血漿252.0mL、検査残余全血4本
142		臨床検査学科における免疫検査学(含む輸血検査学)、臨床化学等の検査学実習	脇 英彦	森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床検査学科	学科長/教授	①	①②	赤血球14バッグ、血漿5バッグ、血漿926.0mL、検査残余全血42本、検査残余血清200本
143		宮城県臨床検査技師会 精度管理事業	岩木 啓太	宮城県臨床検査技師会	精度管理部長	①	①	血漿231.0mL
144		学生に対する教育目的	藤原 実名美	東北大学病院 輸血・細胞治療部	副部長	①	①②	血漿1バッグ、検査残余血漿360本
145		臨床検査技師養成大学における臨床免疫検査学実習	坊池 義浩	神戸学院大学 栄養学部	准教授	①	①②	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿252.0mL、検査残余全血60本、セグメント全血70本
146		ヒト末梢血単球を用いた免疫応答反応のメカニズム解明	中川 晋作	大阪大学大学院 薬学研究科	教授	②	①	全血756.0mL
147		痛風・高尿酸血症リスクに関連するABCG2遺伝子の解析-Jrs抗原陰性者の解析による新規リスク変異の検討	松尾 洋孝	防衛医科大学校 分子生体制御学講座	教授	②	②	検査残余全血147.0mL
148		(一社)神奈川県臨床検査技師会 精度改善事業	芹澤 昭彦	(一社)神奈川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ
149		免疫検査学実習 輸血関連検査実習	山口 聡	東洋公衆衛生学院 臨床検査技術学科	学科長	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ、血漿250.0mL
150		学生に対する教育目的	田村 彰吾	北海道大学大学院 保健科学研究院	准教授	①	①②	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿499.0mL、検査残余全血40本、セグメント全血90本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
151		香川県輸血検査外部精度管理調査	宮川 朱美	香川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿487.0mL
152		全衛連臨床検査精度管理調査	高木 康	公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 臨床検査専門委員会	委員長	①	②	検査残余血清10,000mL
153		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	小野川 傑	埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球8バッグ、血漿8バッグ
154		鳥取県臨床検査精度管理調査	湯田 範規	一般社団法人 鳥取県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿734.0mL
155		血液センター供給血を用いた輸血移植学実習	清宮 正徳	国際医療福祉大学	教授	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ
156		赤血球製剤及び血漿分画製剤における病原体不活化法の研究及びB型・C型肝炎ウイルスの培養系の確立	小林 清子	埼玉医科大学 医学部	講師	①②	①	血漿400.0mL
157		輸血検査学実習	高橋 あゆ子	群馬バース大学 医療技術学部 検査技術学科	助教	①	①	赤血球5バッグ、血漿258.0mL
158		東京都登録衛生検査所の精度管理事業	田中 朝志	東京医科大学 八王子医療センター	教授	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
159		山形県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 精度管理	木村 俊平	山形県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿831.0mL
160		HIV感染細胞のHIV潜伏感染と活性化の機序についての解析	土屋 亮人	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	治療開発専門職	②	②	白血球除去フィルター5個
161		有効なクリオプレシビータートの院内調製	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①	①	血漿12バッグ
162		災害臨床における医学薬学共同による無人航空機(UAV)の活用 ドローンによる血液製剤搬送	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①	①	全血927.0mL、赤血球9バッグ
163		微小振動環境下における赤血球の流動特性に関する実験的研究	百武 徹	横浜国立大学	教授	②	②	検査残余全血128本
164		油症におけるダイオキシン類・PCBの人体暴露と評価手法に関する研究 ③血液中ダイオキシン類・PCB濃度測定の精度管理	新谷 依子	福岡県保健環境研究所	研究員	②	①	全血696.0mL
165		令和6年度(第37回)和歌山県臨床検査技師会臨床検査精度管理調査	田中 規仁	一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ
166		HBs抗原陽性若年献血者におけるHBワクチンエスケープ変異株の検討	四柳 宏	東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野	教授	②	②	検査残余血漿100本
167		標準血清およびコントロール血清への使用	菅 亮彦	株式会社カイノス	研究所所長	②	①②	血漿30バッグ、検査残余血清5,000本
168		ヒト血液を用いたin vitro培養系のマラリア原虫のオルガネラの解析	彦坂 健児	千葉大学大学院 医学研究院 感染生体防御学	准教授	②	①	赤血球23バッグ、血漿16バッグ
169		公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 ヘモグロビンA1c精度管理事業での使用	増田 詩織	公益社団法人 大阪府臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球1バッグ、血漿1バッグ
170		長野県における輸血検査教育	小嶋 俊介	信州大学医学部附属病院 輸血部	主任臨床検査技師	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
171		献血血液等 検査残余血液(全血):EDTA採血を用いた品質確認試験(検査)	黒澤 竜雄	富士フイルムヘルスケアマニファクチャリング株式会社三重事業所 マテリアル生産本部 第1製造部	部長	②	②	検査残余全血540本
172		輸血・移植検査学実習	今井 優樹	京都橋大学健康科学部臨床検査学科	教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ、血漿210.0mL
173		成分献血ドナーを対象としたiPS細胞由来の巨核球細胞ストック及び血小板産生に関する研究	江藤 浩之	京都大学iPS細胞研究所	教授	①	①	血漿1バッグ、血小板1バッグ、血漿2,296.0mL
174		先進医療機器のための抗血栓材料の開発	田中 賢	九州大学先端物質化学研究所	教授	②	①	全血6,975.0mL
175		ナショナルバイオリソースプロジェクトにおけるマラリア原虫株の培養と維持管理	金子 修	長崎大学熱帯医学研究所 生物資源室	所長/教授	②	①	赤血球1バッグ
176		新しいヒト免疫不全ウイルス制御法の開発研究	布矢 純一	獨協医科大学 微生物学講座	講師	②	②	白血球除去フィルター5個
177		悪性腫瘍に対する養子免疫T細胞療法の開発研究	布矢 純一	獨協医科大学 微生物学講座	講師	②	②	白血球除去フィルター5個
178		抗マラリア活性化合物の探索と創薬研究	和田 章	国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター	専任研究員	②	①	赤血球24バッグ
179		臨床検査技師実習技能研修(輸血)	熊谷 豊	国立病院機構関東信越グループ	臨床検査専門職	①	①	赤血球2バッグ、血漿4バッグ
180		臨床検査技師養成大学における輸血・移植検査学実習の教育・手技の修得	清水 慶久	北陸大学	教授(臨床免疫学担当)	①	①②	血漿1,227.0mL、検査残余全血9本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
181		ヒト赤血球およびヒト抹消細胞を用いたマラリア原虫生成物による免疫応答機構の解析	ジェヴィア チョパン	東京大学医学研究所 感染免疫部門 マラリア免疫学分野	教授	②	①	赤血球13バッグ
182		高知県精度管理調査の血液試料(保健事業目的のため)	出間 智行	一般社団法人 高知県臨床検査技師会	臨床検査技師	②	①	全血627.0mL
183		長崎県臨床検査技師会 輸血検査研究班活動	松永 光博	長崎県臨床検査技師会 輸血検査研究班	理事	①	①	赤血球3バッグ、血漿245.0mL
184		熊本県内における臨床検査精度向上のための精度管理	田中 信次	熊本県臨床検査技師会	熊本県臨床検査技師会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿716.0mL
185		熱帯熱マラリア原虫薬剤耐性機構の研究	新澤 直明	東京医科歯科大学	講師	②	①	赤血球25バッグ、血漿25バッグ
186		日本赤十字社より譲渡を受けた献血血液を用いた熱帯熱マラリア原虫培養系を利用した、マラリアワクチン、薬剤、診断法の評価系の開発	狩野 繁之	国立研究開発法人 国立国際医療センター研究所	熱帯医学・マラリア研究部長	②	①	赤血球23バッグ、血漿23バッグ
187		輸血前検査の精度管理(東京都立病院機構 東京都立病院検査科輸血分野別検討会統一精度管理(凝集サーベイ))	市川 智士	多摩南部地域病院	検査科技師長	①	①	赤血球3バッグ
188		(一社)秋田県臨床検査技師会精度管理調査	加藤 亜有子	秋田県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球2バッグ
189		(一社)秋田県臨床検査技師会輸血細胞治療部門実技研修会	加藤 亜有子	(一社)秋田県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ
190		アレルギー病態の分子機構解明	上野 英樹	京都大学大学院 医学研究科 免疫細胞生物学	教授	②	②	白血球除去フィルター4個
191		群馬県臨床検査精度管理調査	松井 直紀	一般社団法人 群馬県臨床検査技師会	精度保証部精度管理委員会委員長	①	①	赤血球5バッグ、血漿1648.0mL
192		2年次 輸血・移植検査学実習	尾形 隆夫	西武学園医学技術専門学校	臨床検査技師 学科長	①	①	赤血球12バッグ、血漿8バッグ
193		北海道医療大学 医療技術学部 輸血・移植学演習	幸村 近	北海道医療大学 医療技術部	学部長・教授	①	①②	赤血球5バッグ、血漿2バッグ、血漿970.0mL、検査残余全血16本、セグメント全血240本
194		青森県臨床検査技師会 輸血・細胞治療部門 精度管理調査	雫石 宏美	青森県臨床検査技師会	学術班 輸血・細胞治療部門 部門長	①	①	赤血球2バッグ、血漿464.0mL
195		ヒト血液を用いたマラリア原虫の培養	徳外 富由樹	群馬大学大学院保健学研究科 生体情報検査科学講座	教授	②	①	赤血球7バッグ、血漿6バッグ
196		発熱性物質評価法の開発	林 克彦	国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部	研究員	②	①	全血3.955.0mL
197		iPS細胞由来のHLAクラスI欠失巨核球細胞のストックおよび血小板産生に関する研究	江藤 浩之	京都大学iPS細胞研究所	教授	①	①	血漿10バッグ、血漿419.0mL
198		熱帯熱マラリア原虫の培養系を用いた抗マラリア新規治療薬の探索	北 潔	長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究	教授	②	①	赤血球51バッグ、血漿24バッグ
199		輸血学実習授業のための譲渡血	高山 成伸	大東文化大学 スポーツ・健康科学部	教授	①	①	赤血球11バッグ、血漿5バッグ
200		学生に対する教育目的(輸血検査の手順と結果の判断力を身につけ、血液製剤の適応と選択できる。)	佐藤 進一郎	高知学園大学 健康科学部 臨床検査学科	教授	①	①②	赤血球9バッグ、血漿2バッグ、血漿1,201.0mL、セグメント全血130本
201		藤田医科大学医療科学部の臨床検査技師養成教育のため	松浦 秀哲	藤田医科大学 医療科学部	准教授	①	②	検査残余全血34本
202		東京都臨床検査技師会 輸血レベルの向上を目指した教育的使用	原田 典明	公益社団法人 東京都臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球6バッグ、血漿6バッグ
203		茨城県臨床検査技師会による所属施設への輸血検査業務支援(実技研修会)	岩田 幸広	公益社団法人 茨城県臨床検査技師会	生命倫理検査部門 輸血・移植検査分野 分野長	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
204		熊本県内における臨床検査精度向上のための輸血検査技術講習会の実技指導	田中 信次	熊本県臨床検査技師会	熊本県臨床検査技師会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ、血漿242.0mL
205		犯罪鑑識を目的とした血液の利用について	谷口 真司	滋賀県警察本部刑事部 科学捜査研究所	総括研究員	②	②	検査残余全血22本、検査残余血清20本
206		長崎県臨床検査技師会 輸血検査研究班活動	潮屋 春菜	長崎県臨床検査技師会 輸血検査研究班	班長	①	①②	赤血球3バッグ、血漿235.0mL、セグメント全血50本
207		輸血検査に関する実習	安田 好徳	札幌医学技術福祉歯科専門学校 医療技術部 臨床検査技師科	専任教員	①	①②	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿698.0mL、セグメント全血80本
208		輸血検査精度管理調査	岡崎 仁	日本輸血・細胞治療学会	理事長	①	①	赤血球15バッグ、血漿11バッグ
209		COVID-19を中心とした新興感染症に対する免疫基盤研究	藤井 眞一郎	国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター	免疫細胞治療研究 チーム チームリーダー	②	①	全血20,058.0mL
210		麻酔薬および免疫チェックポイント分子の腫瘍免疫、移植免疫に及ぼす影響の研究	鬼塚 信	九州医療科学大学 社会福祉学部	教授	②	②	白血球除去フィルター13個

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
211		高電圧静電誘導による血小板製剤の長期保存効果の検証	小玉 正太	福岡大学 再生移植医学講座	教授	①	①	血小板5バッグ
212		京都府臨床検査技師会 精度管理調査	相田 幸雄	一般社団法人京都府臨床検査技師会 輸血研究班	班長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、血漿204.0mL
213		マイクロ流路デバイスを用いた白血球分離手法の開発	田口 明	京セラ株式会社 EPデバイス開発部	EPデバイス開発部責任者	②	②	検査残余全血274本
214		揮発性毒物検査法実習	数井 優子	科学警察研究所 法科学第三部化学第五研究室	室長	②	②	検査残余全血20本
215		臨床検査技師養成校における輸血検査教育・実習	小川 一英	福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科	学科長	①	①②	赤血球8バッグ、血漿5バッグ、血漿1,383.0mL、検査残余血漿8本
216		輸血検査学実習における学生教育の実施	魚住 諒	日本医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	講師	①	①②	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、血漿1,154.0mL、検査残余全血140本、セグメント全血260本
217		輸血検査教育(実技)による使用	高橋 浩之	東邦大学医療センター 大森病院	教授	①	①	赤血球バッグ12本、血漿7バッグ
218		血液流動時の物理刺激が血液細胞に与える影響の調査研究				②	①	血小板279.0mL
219		FFWKユーザー輸血検査研修会(中国地区)	山下 省一	富士フイルム和光純薬株式会社 臨床検査薬学術開発本部	西日本学術部 課長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1,088.0mL
220		輸血検査実技講習会	内海 伴教	三重県合同輸血療法委員会	技師部会担当	①	①②	赤血球2バッグ、血漿497.0mL、セグメント全血10本
221		新生児マスキリーニング検査の外部精度管理検体(PT検体、QC検体)の製造	篠塚 直樹	札幌イムノ・ダイアグノスティック・ラボラトリー	課長	②	①②	赤血球12バッグ、血漿2バッグ、白血球除去フィルター2個
222		新生児マスキリーニング用体外診断用医薬品・研究用試薬のスタンダード濾紙血液及びコントロール濾紙血液への使用	山田 博紀	(株)第一岸本臨床検査センター	課長	②	①	赤血球55バッグ、血漿4バッグ、血漿3,837.0mL
223		結核感染症およびウイルス感染症に対する脂質免疫系の分子基盤解明	森田 大輔	京都大学 医生物学研究所	助教	②	②	白血球除去フィルター4個
224		第2学年対象 輸血・移植検査学実習および技能習得達成度評価	木村 美智代	新渡戸文化短期大学臨床検査学科	准教授	①	①	赤血球29バッグ、血漿27バッグ
225		感染症検査試薬の性能評価	佐々木 典子	アボットジャパン合同会社 総合研究所	製品研究室 室長	①②	①	血漿29バッグ、血漿23,718.0mL
226		HEVに関する新規検査試薬の性能評価	金光 一瑛	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	ヘルスケアエクセレンス本部長	②	①②	血漿100バッグ、検査残余血漿500本
227		Parvo B19に関する新規検査試薬の性能評価	金光 一瑛	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	ヘルスケアエクセレンス本部長	②	②	検査残余血清56本
228		血液検査学実習	山本 哲志	近畿大学薬学部	准教授	①	①	全血392.0mL
229		ウイルス感染症制御における免疫細胞応答の解明	藤野 真之	国立感染症研究所	主任研究官	②	②	白血球除去フィルター1個
230		鹿児島県医師会臨床検査精度管理調査	牧角 寛郎	公益社団法人 鹿児島県医師会	会長	①	①	赤血球2バッグ
231		学内における第3学年対象の免疫検査学実習(輸血検査部分)および同科目内容の学内臨床実習	横尾 智子	日本医療科学大学 保健医療学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球19バッグ、血漿17バッグ、血漿1541.0mL
232		京都府臨床検査技師会 精度管理調査	福光 弘明	一般社団法人京都府臨床検査技師会 臨床化学免疫血清研究班	精度管理担当者	①	①	赤血球2バッグ
233		献血者における梅毒流行株についての解析	安達 英輔	東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科	講師	②	②	検査残余全血94本、検査残余血漿94本、検査残余血清94本
234		無人航空機を用いた血液製剤搬送の実行可能性と品質への影響に関する研究	糸永 英弘	長崎大学病院 細胞療法部	講師	①	①	赤血球15バッグ、血小板2バッグ
235		残余血小板を用いた薬物性肝障害リスク評価法の開発	伊藤 晃成	千葉大学大学院薬学研究院	教授	②	①	血小板3バッグ
236		新規パルボウイルスワクチンの開発	蝦名 博貴	一般財団法人阪大微生物病研究会	基礎研究室 室長	②	①	血漿4バッグ、血漿1,442mL
237		赤血球製剤及び血漿分画製剤における病原体不活化法の研究及びパルボウイルスB 19の培養法の確立	小林 清子	埼玉医科大学医学部	講師	②	①	血漿1バッグ、血漿818.0mL
238		ヒト末梢血および臍帯血から得られる制御性T細胞の比較研究および臨床応用を目指した基礎的知見の蓄積	坂口 志文	京都大学医生物学研究所・生体再建学分野	客員教授	②	①	全血2,400.0mL
239	○	軽度認知障害(MCI)スクリーニング検査に用いる標準試料の製造	品川 敏恵	株式会社MCBI	事業部研究開発プロジェクト課	②	①②	血漿1バッグ、検査残余血清10本
240	○	令和6年度 香臨技・四県合同研修会(輸血検査研究班)	宮川 朱美	(一社)香川県臨床検査技師会	(一社)香川県臨床検査技師会 臨床検査技師	①	①②	赤血球5バッグ、血漿1,689.0mL、検査残余全血8本、セグメント全血90本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
241	○	北海道臨床衛生検査技師会 輸血部門 輸血精度管理調査	早坂 光司	北海道臨床衛生検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿2バッグ
242	○	マラリア原虫の増殖機構の解明と抗マラリア薬の開発	東岸 任弘	大阪大学微生物病研究所	特任准教授	②	①	赤血球18バッグ
243	○	臨床免疫学実習(輸血実習)	柱本 照	神戸大学大学院保健学研究科	教授	①	①	血漿1バッグ
244	○	医学科学生による血液型判定実習	西谷 陽子	京都大学医学研究科法医学講座	教授	①	①	全血1,077.0mL
245	○	血中薬物濃度測定とその精度管理	菅原 満	北海道大学病院 薬剤部	薬剤部長・教授	②	①	血漿2バッグ、血漿944.0mL
246	○	順天堂大学医療科学部臨床検査学科3年次輸血・移植検査学実習における使用	長岡 功	順天堂大学医療科学部	学部長	①	①	赤血球8バッグ、血漿8バッグ
247	○	悪性リンパ腫における免疫回避機序の解明	中川 雅夫	北海道大学大学院 医学研究院 血液内科	助教	②	①	全血1,135.0mL
248	○	ヘモグロビン試薬の調製	外山 幸司	(社)日本血液製剤機構 京都工場	品質管理部長	②	①	赤血球6バッグ
249	○	大阪大学医学部保健学科輸血検査実習	清川 知子	大阪大学医学部付属病院 輸血部	主任臨床検査技師	①	①	血漿1バッグ、血漿747.0mL
250	○	過敏性肺炎における環境中抗原に対する特異的IgG抗体の網羅的検査方法の確立と有用性の検討	白井 剛	東京医科歯科大学 呼吸器内科	教授	②	②	検査残余血清70本
251	○	適切な温度管理下で血液搬送	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①	①	赤血球12バッグ
252	○	免疫細胞の免疫代謝制御機構の解析	杉澤 良一	近畿大学医学部生化学教室	助教	②	①②	全血395.0mL、白血球除去フィルター4個
253	○	血液判定及び血液採取に関する実技教育研修	林川 善浩	第七管区海上保安本部 警備救難部	刑事課長	②	②	検査残余全血40本
254	○	ABO亜型検査の条件検討をする研究:吸着解離試験について	三浦 里織	福島県立医科大学保健科学部	助教(学内講師)	①	①	赤血球3バッグ
255	○	(一社)愛媛県臨床検査技師会精度管理調査事業(輸血分野)	高村 好実	(一社)愛媛県臨床検査技師会	(一社)愛媛県臨床検査技師会会長 臨床検査技師	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿233.0mL
256	○	奈良県臨床検査技師会 精度管理調査	菅野 知恵美	一般社団法人 奈良県臨床検査技師会	臨床検査技師	②	①	赤血球1バッグ、血漿1バッグ
257	○	京都大学医学部人間健康科学科における輸血検査実習	松尾 英将	京都大学医学部人間健康科学科	准教授	①	①	赤血球2バッグ、血漿554.0mL
258	○	新生児用中心静脈カテーテルを用いた赤血球輸血の溶血・カテーテル閉塞の検討(in vitro)	野上 和剛	札幌医科大学 医学部 小児科学講座	助教	①	①	赤血球5バッグ、血漿750.0mL
259	○	細胞培養システムを用いた作製血小板の研究	松原 由美子	株式会社AdipoSeeds	取締役	①	①	血小板9バッグ
260	○	既存ヘルパーT細胞を活用した新規ワクチンの基盤構築	寺原 和孝	国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター	主任研究官	②	①	全血19,247.0mL
261	○	細胞デザイン分子による機能性血小板の創製と神経芽腫治療への応用	松崎 典弥	大阪大学大学院 工学研究科	教授	②	①	血小板12バッグ
262	○	公益社団法人兵庫県臨床検査技師会 輸血研究班活動	大塚 真哉	兵庫県臨床検査技師会	輸血研究班班長	①	①	赤血球2バッグ、血漿475.0mL
263	○	病原性抗酸菌の赤血球接着型増殖メカニズムの解明と新薬開発	西内 由紀子	広島大学	主幹特任学術研究員	②	①	赤血球10バッグ、血漿2,308.0mL
264	○	臨床免疫学輸血検査学生実習	竹ノ内 博之	九州医療科学大学 生命医科学部 生命医科学科	教授	①	①②	赤血球3バッグ、血漿737.0mL、セグメント全血20本
265	○	GD2キメラ抗原受容体導入T細胞による難治性固形がん治療の臨床応用へ向けた基礎研究	高橋 義行	国立大学法入東海国立大学機構 名古屋大学医学部附属病院 小児科	教授	②	②	白血球除去フィルター31個
266	○	輸血・移植検査学(学生実習)における、輸血検査に必要な基本的な技術の取得	武田 湖州恵	中部大学	准教授	①	①②	赤血球3バッグ、血漿700mL、セグメント全血240本
267	○	ヒト血液を利用した再構成糖鎖プロファイルによる疾患診断	戸谷 希一郎	成蹊大学理工学部	教授	②	①	全血3,579.0mL
268	○	自己免疫性神経疾患におけるヒトDCIRの機能理解とその制御方法の探索	海部 知則	東北医科薬科大学医学部免疫学教室	准教授	②	②	j検査残余血漿37本
269	○	周術期アナフィラキシー反応症例の新規検査方法の開発	鈴木 康之	済生会保健・医療・福祉総合研究所	客員研究員	②	②	白血球除去フィルター2個
270	○	ヒトリンパ球亜集団の細胞傷害活性および免疫抑制活性を制御する新規タンパク質分子の創製	井上 雅己	神戸学院大学	助教	②	①②	全血211.0mL、白血球除去フィルター29個

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
271	○	血液凝固線溶反応に関する実習	鈴木 優子	浜松医科大学	教授	①	①	血漿135.0mL
272	○	医学科 免疫系実習	青枝 大貴	長崎大学 医学部 医学科 免疫学	教授	①	①	全血2,037.0mL
273	○	死細胞の取り込みにより誘導されるマクロファージの極性変化に関する基礎研究	大谷 健太郎	国立循環器病研究センター	研究室長	②	②	白血球除去フィルター34個
274	○	ヒト新鮮凍結血漿を用いたセルブロック作成法の検討	若狭 朋子	近畿大学奈良病院	教授	②	①	血漿5バッグ
275	○	末梢および組織における制御性T細胞と樹状細胞の機能メカニズムの解明	山崎 小百合	名古屋市立大学大学院医学研究科 免疫学	教授	②	①②	全血768.0mL、白血球除去フィルター2個
276	○	造血器悪性腫瘍の病態形成機構の解明	原田 武志	徳島大学 大学院医歯薬学研究部	准教授	②	②	白血球除去フィルター22個
277	○	輸血・移植検査学実習	仲西 功	近畿大学薬学部	教授	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
278	○	輸血用赤血球製剤の急速輸血に伴う機械的溶血に関する研究	牧 盾	九州大学病院集中治療部	講師	①	①	赤血球15バッグ
279	○	ヒト末梢血を用いた免疫応答の解析	河上 裕	国際医療福祉大学 医学部	教授	②	①	白血球除去フィルター6個
280	○	ヒト血液中薬剤モニタリング用センサの開発	吉見 靖男	芝浦工業大学	教授	②	②	検査残余血清695本
281	○	HBsAg測定試薬の性能評価	野田 健太	シスメックス株式会社 診断薬エンジニアリング本部	部長	②	②	検査残余血清100本
282	○	血液灌流によるヒトiPSC大型臓器創出法の開発	田所 友美	横浜市立大学医学部臓器再生医学	助教	②	①	赤血球1バッグ、血漿1バッグ
283	○	輸血医療に関する医療従事者の手技向上にかかる研修	刑部 高志	自衛隊中央病院診療技術部	臨床検査課長	①	①	赤血球60バッグ

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液（検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤）
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物（検査用検体の残余血液、保管年限（11年）を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分）
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本赤十字社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		自動血液製造システムに関する研究(製剤-184)の試料として	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血10バッグ
2		新入職員等に係る教育訓練用として	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血29バッグ、赤血球16バッグ、血漿5バッグ、血小板1バッグ
3		品質データ取得に関する検討	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球783バッグ
4		全血白血球除去フィルター(血小板通過型)に関する研究(製剤-185)の試料として	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	③	全血3バッグ
5		自動血球分析装置に関する研究(製剤-169)の試料として	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体14本
6		品質確認	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血21バッグ、赤血球1バッグ、血漿5バッグ、血小板10バッグ
7		凍結乾燥血漿に関する研究(製剤-172)の試料として	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	③	全血12バッグ
8		血小板保存に関する研究(製剤-168)の試料として	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血小板12バッグ、血小板数測定用検体433本
9		血小板溶解液の調製に係る研究(製剤-173,製剤-174,製剤-175,製剤-176)の試料として	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	その他(成分採血装置残余血)15キット
10		血小板溶解液の調製に係る研究(製剤-175)の試料として	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿2バッグ、白血球除去フィルター1558個
11		血漿品質に関する内部検討	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血3バッグ、血小板6バッグ
12		全血品質に関する内部検討	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血3バッグ
13		不規則抗体陽性パネルの作製	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿54バッグ
14		PK7400用コントロールの作製	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血漿1090本
15		不規則抗体同定用パネル血球の作製	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球13バッグ、検査残余全血72本
16		血液型関連パネル血球の作製	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球2バッグ
17		研修生等の実技研修	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	セグメント(全血)11本、検査残余全血14本
18		職員の教育訓練のため	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球4バッグ、血漿5バッグ、検査残余全血1本
19		血液型検査用抗血清の確保	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	③	血漿3バッグ
20		単球貪食試験(研究G)	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血79本
21		献血者における補体結合性不規則抗体の保有率および機能評価(赤-154)	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血36本、検査残余血清863本
22		女性献血者におけるHPA-21b抗体の抗体スクリーニング(白-102)	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血10697本
23		ABO異型血小板輸血における不応原因の血小板貪食試験による評価(白-110)	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血585本
24		スクリーニングNAT陽性(HBV同定)血液の確保と送付について	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿12本
25		HIV検査陽性時の対応について	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿2本
26		HEV NAT陽性献血者検体の解析および追跡調査(感染-118)	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿182本、検査残余血清2053本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
27		北海道献血者におけるALT不合格検体の解析(推進-7)	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清25本
28		赤血球系前駆細胞分化過程における不規則抗体が分化抑制に及ぼす影響の解析(赤-153)	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血28本、その他(成分採血装置残余血)7キット
29		全自動遺伝子検査装置(コパス5800システム)によるバルボB19 DNA検出系の構築およびB19抗原検査陽性検体の解析(感染-129)	鳥本 悦宏	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	赤血球126バッグ、血漿185バッグ
30		白-103「HPA抗体の反応性に関する基礎的検討」	柴崎 至	東北ブロック血液センター	所長	①	①	血漿1バッグ
31		輸血後HBV感染とHBV陽転化の因果関係についての調査及びNATコントロールサーベイに使用するため。	柴崎 至	東北ブロック血液センター	所長	①	①	血漿6バッグ
32		NATコントロールサーベイに使用するため。	柴崎 至	東北ブロック血液センター	所長	①	①	血漿11バッグ
33		献血血液の長期保存(Bigdata国民健康貢献事業)に係る検査残余検体の収集	柴崎 至	東北ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1800本、検査残余血清1800本
34		依頼検査用検体	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②③	全血3バッグ、赤血球4バッグ、検査残余全血5477本
35		まれ血・亜型・抗体同定(確認・検討用)	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①③	全血2バッグ、赤血球72バッグ、血漿67バッグ
36		自動検査機器の精度管理用(原料血用・抗原陰性血用)	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	③	赤血球84バッグ
37		不規則抗体同定用パネル血球原料等	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	③	赤血球138バッグ
38		血液型検査用試薬の製造原料として和光純薬工業(株)に提供	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②③	赤血球78バッグ、血漿6バッグ、検査残余全血1470本
39		モノクローナル抗体試薬の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1155本
40		血液型検査用試薬検討	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	③	血漿3バッグ
41		「スクリーニングNAT陽性(HBV同定)血液の確保と送付について」 「NATコントロールサーベイ等に使用するNAT陽性血液の確保について」	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①③	血漿58バッグ
42		ヒトパルボウイルスB19抗原陽性血液の提供について(依頼)	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	③	血漿25バッグ
43		検査用コントロールの作製	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	③	血漿3バッグ
44		HLA関連検査に係る試薬等の評価のため	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血62本
45		白-98簡便・迅速なHPA型タイピング試薬の開発	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血187本
46		フローサイトメーター(Navios)の精度管理	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体6本
47		ABO精査	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球17バッグ、血漿17バッグ
48		HIV陽性時の対応	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿1バッグ
49		NATコントロールサーベイ等	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿10バッグ
50		Rh精査	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	全血1バッグ、赤血球13バッグ
51		血液型検査用試薬検討	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿1バッグ
52		不規則抗体精査	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球2バッグ、血漿7バッグ
53		BET製造の教育訓練	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿10バッグ

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
54		BET血製造の教育訓練	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球12バッグ
55		FRC製造の教育訓練	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球8バッグ
56		WRC製造の教育訓練	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球6バッグ
57		PK用試薬の製造(和光)	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	検査残余全血532本、検査残余血漿928本、血小板数測定用検体5本
58		NATコントロールサーベイ等に使用するNAT陽性血液の確保について	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿45バッグ
59		精査	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球1バッグ、血漿1バッグ、検査残余血清1本、血小板数測定用検体1本
60		血液型関連検査用コントロール及びパネルの作製	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②③	血漿11バッグ、検査残余全血3141本
61		三次検査	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②③	赤血球22バッグ、血漿32バッグ、検査残余全血4本、検査残余血清67本、血小板数測定用検体94本
62		防衛省に対する用時解凍洗浄のトレーニングの開催及びトレーニング講師の派遣について	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球16バッグ
63		用手法用血球試薬の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②③	赤血球179バッグ、検査残余全血120本、検査残余血漿372本、検査残余血清1本
64		研究課題を遂行するための研究用試料として	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	①②	赤血球2バッグ、検査残余全血18本
65		非溶血性輸血副作用検査の健常人対照として	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血464本
66		HLA発現量調査、血小板貪食試験用パネル、抗体検出用パネル細胞の収集	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血706本、検査残余血清500本
67		血小板貪食試験用パネルおよび血小板機能試験	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血250本
68		感染症関連検査陽性血液の解析	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余血漿3本、検査残余血清1本
69		感染症検査陽性血液の解析、現行感染症検査の妥当性検証等に使用(血液事業研究:中央-2204)	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	②③	血漿27バッグ、検査残余血清62本
70		譲渡血対応(28J0064:国立感染症研究所 水上 拓郎先生)	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	①	全血8バッグ、血漿10バッグ
71		研究グループ、研究課題の試料として	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血595本
72		血液を通じて感染するおそれがある病原体の疫学研究	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	②③	血漿3バッグ、血小板2バッグ、検査残余血漿184本
73		細菌汚染対策研究用(細菌接種実験・検出実験など)	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	①③	全血16バッグ、赤血球27バッグ、血小板98バッグ
74		非特異反応の低減を目指す新規検査法開発の検討用	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	①②	血小板2バッグ、血小板数測定用検体12本
75		「Xe flash-UVCフロー照射システムによる血小板製剤混入病原体の低減化能及び血小板品質の評価」の試料として	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	①②	血小板12バッグ、血小板数測定用検体6本
76		「大量出血動物モデルの開発とその改良並びに同モデル等を活用した新規血液製剤の機能評価」の試料として	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	①②③	血小板49バッグ、血小板数測定用検体36本
77		血液製剤中に含まれる細胞外小胞の解析	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	①	血小板2バッグ
78		血小板保存バッグ(新生児・小児用)の開発のため	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	①	血漿11バッグ、血小板10バッグ
79		製剤開発に係る予備検討	谷 慶彦	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球106バッグ、血小板10バッグ
80		MR研修会	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿1バッグ、検査残余全血100本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
81		PK血球試薬の本社依頼品質試験用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血30000本
82		凝集目合わせの教育訓練	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血50本
83		苦情調査(クロスマッチ)に使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血50本
84		血液型検査三次検査に使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血2500本
85		血液型検査に使用する解離液、レクチン等の調製用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血200本
86		血液型検査に使用する抗体試薬調製用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①③	血漿35バッグ
87		血液型検査に使用する精度管理血球試薬調製用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血2200本
88		血液型検査に使用する生理食塩液の受入試験用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血200本
89		血液型検査に使用するパネル血球試薬調製用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血250本
90		検査機器のバリデーション	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血800本
91		富士フィルム和光純薬への譲渡用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1800本
92		梅毒追加検査(RPR法)の陰性コントロール作成のため	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血漿30本
93		中央血液研究所での検討	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿43バッグ、検査残余血漿71本
94		規格試験認定試験のサンプル	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球3バッグ、血漿9バッグ、血小板3バッグ
95		年次バリデーション用、運転時バリデーション用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球4バッグ、血小板4バッグ
96		外観試験に係る教育訓練のため	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球3バッグ、血漿3バッグ、血小板2バッグ
97		血小板外観確認目合わせ	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	血小板5バッグ
98		血液型検査用試薬の製造原料として富士フィルム和光純薬株式会社に提供	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	③	赤血球68バッグ
99		血液型検査用試薬(自家調製)の製造原料のため	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	③	赤血球20バッグ
100		PK7400用コントロールの作製	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球66バッグ
101		血液型関連検査用コントロール及びパネルの作製	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1192本、検査残余血漿8本
102		モノクローナル抗体力価試験用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血147本
103		精査目的	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球5バッグ、血漿34バッグ
104		試薬の品質試験	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清1280本
105		献血血液の長期保管等に係る検査残余検体の収集	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清1800本
106		「さい帯血提供前クロスマッチ試験(ICFA法)の最適条件についての検討」の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血56本
107		「ヒト血小板抗原15(HPA-15)の臨床的意義の解明に向けた多面的解析」の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血470本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
108		「白血球・血小板型に関する研究グループ」の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血35本
109		PC-HLA関連検査に使用する試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血26本
110		血小板抗体・抗原検査法検討の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血4本
111		副作用検査などの試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血46本
112		令和6年度PC-HLA関連検査サーベイ(白血球・血小板検査)の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1本
113		血液事業研究:課題番号白100	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	血小板4バッグ
114		自動血球計数装置の調整	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体10本
115		血液事業研究:課題番号細菌24	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①③	血小板33バッグ
116		血小板凝集塊の判定に伴う評価試験計画書の改訂	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	血小板4バッグ
117		末梢血造血幹・前駆細胞の性状解析	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①②	全血7バッグ、白血球除去フィルター176個
118		PK7300コントロール	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血3,026本
119		血球試薬	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血169本
120		二次検査コントロール	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血57本
121		三次検査	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血650本
122		依頼検査	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血256本
123		HLA検査コントロール	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血294本
124		IH血球試薬	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	③	赤血球39バッグ
125		亜型赤血球の収集	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球21バッグ、全血2バッグ
126		不規則抗体陽性血漿および亜型血漿の収集	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	血漿34バッグ
127		抗体試薬	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	血漿1バッグ
128		HIV陽性のため	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球1バッグ、血漿261バッグ
129		採血部門に係る教育訓練のため	芦田 隆司	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体65本
130		抗原陰性血スクリーニング用コントロールとして	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血530本
131		血液型一次検査 PK用コントロールとして	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球98バッグ
132		Rh血液型二次検査用RhD陰性コントロールとして	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血3本、血小板数測定用検体3本
133		目合わせ用検体として	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血7本
134		ブロック内学術担当研修会用試料として	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球1バッグ、検査残余全血21本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
135		Workflow HLA-A,B,Cタイピング試薬受入試験	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体4本
136		Quickgene DNA whole blood kit S 受入試験	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体3本
137		ICFA試薬品質試験	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血5本、血小板数測定用検体26本
138		DNA抽出キット受入試験	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体1本
139		性能バリデーション	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体8本
140		NAT試薬の変更に伴うNAT陽性血液の解析(中央血液研究所)	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	①	血漿30バッグ、全血2バッグ
141		NATコントロールサーベイ等に使用するNAT陽性血液の確保(中央血液研究所)	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	①	血漿40バッグ
142		HTLV-1 LIA判定保留事例の性状解析(感染-122)	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球4バッグ、血漿4バッグ、検査残余血清1,238本、血小板数測定用検体114本
143		HTLV-1 抗体スクリーニング検査の特異度に関する検討(感染-123)	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球4バッグ、血漿587バッグ、全血1バッグ、血小板10バッグ、検査残余血清1,238本、血小板集測定用検体115本
144		「生体内自然免疫による殺菌作用を利用した血液製剤の安全性向上」(細菌-25)	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	①	血小板53バッグ
145		HTLV-I抗体陽性血液の提供について(継続)	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	①	血漿495バッグ、血小板7バッグ
146		原料血液及び血液製剤の温度管理リファレンスデータの取得と模擬バッグの調整(製剤-171)	松崎 浩史	九州ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球10バッグ、全血10バッグ

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【KMバイオロジクス株式会社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		KMバイオロジクス株式会社 自己使用 (試験方法、製法改良、収率改善、試作製造などの研究開発、業事対応用のデータ取得)				①	②	血液凝固第Ⅷ因子原画分 1.5g 血液凝固第Ⅹ因子原画分 1440mL 血液凝固第ⅩⅢ因子原画分 280mL 血液凝固第ⅩⅢ因子中間体 200mL フィブリノゲン原画分 1400g フィブリノゲン中間体 2050mL トロンビン原画分 120mL アルブミン50mL製剤小分 35本 アルブミン100mL製剤小分 460本 フィブリノゲン5mL製剤小分 33本 トロンビン1mL製剤小分 150本 トロンビン3mL製剤小分 150本 血漿バッグセグメント 1000本
2		KMバイオロジクス株式会社 自己使用 (製法改良)				①	③	沈殿Ⅱ 96 kg 沈殿Ⅱ+Ⅲ 293 kg グロブリン製剤中間体 90mL グロブリン製剤小分 2.5g換算330本 ヒスタグロビン小分 400本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本血液製剤機構への申請等】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1	○	ヒト免疫グロブリン静注製剤中に含まれる抗HLA抗体に関する研究		東京女子医科大学	准教授	①	①	献血ヴェノグロブリンH10%静注(5g):5本
2	○	急性尿管細管壊死に対するアンチトロンビンの作用の検証		岐阜大学大学院医学系研究科救急災害医学分野	准教授	①	①	ノイアート静注用(500単位):6本
3	○	全血粘弾性検査を用いたアンチトロンビンの血小板凝集能に対する凝血学的検討		佐賀大学医学部救急医学講座	准教授	①	①	ノイアート静注用(1500単位):1本
4	○	大腸炎に対するアンチトロンビンの作用の検証		岐阜大学大学院医学系研究科救急災害医学分野	准教授	①	①	ノイアート静注用(1500単位):3本
5		敗血症マウスにおけるグリコカリックス修復に関する基礎研究		大阪医科薬科大学 救急医学	准教授	①	①	ノイアート静注用(1500単位):2本
6	○	心不全ラットの人工心肺後の微小血栓の探索、およびアンチとロビンIIIの血栓予防に関する研		国立循環器病研究センター 輸血管理部	部長	①	①	ノイアート静注用(1500単位):4本
7	○	血漿由来第Ⅸ因子の生化学的および免疫学的基礎研究		奈良県立医科大学 小児科	教授	①	①	クリスマシン(1000単位):19本 クリスマシン(400単位):69本
8		感染症またはがんに対するAlpha-1-Acid glycoprotein(AGP)改変体の治療効果		・京都薬科大学 薬剤学分野 ・和歌山県立医科大学 薬学部 薬剤学研究室	教授 助教	①	②	上清V:50L
9	○	JB製品への抗体吸着性能評価試験への使用可否検討		(株)カネカ、大阪工場 医療器グループアドソル課	-	②	①	献血ヴェノグロブリンH10%静注(10g):4本
10	○	タンパク質分解酵素固定化担体を用いた断片化抗体の連続的製造技術の開発研究		山口大学 創成科学研究科 応用科学分野	准教授	②	①	献血ヴェノグロブリンH10%静注(10g):1本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本血液製剤機構社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		JB 機構内研究 (新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発)				①	①	献血ヴェノグロブリンH5%静注(5g):1本 献血ヴェノグロブリンH10%静注(2.5g):10本 献血ヴェノグロブリンH10%静注(5g):2本 献血ヴェノグロブリンH10%静注(10g):1本 献血ヴェノグロブリンH10%静注(20g):7本 ノイアート静注用(500単位):10本 ノイアート静注用(1500単位):12本 ハプトグロビン静注:1本 献血アルブミン25%静注(12.5g):1本 フィブリノゲンHT静注用:18本
2		JB 機構内研究 (新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発)				①	③	沈殿:FractionⅡ+Ⅲ:38.15kg 沈殿:FractionV:15 kg 凝固因子製剤用原料血漿:8 L 献血ヴェノグロブリンH製造工程中間体:1.8 L PTC濃縮液:48 L
3		JB 機構内研究 (新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発)				②	①	フィブリノゲンHT静注用:3本 献血アルブミン25%静注(12.5%):2本
4		JB 機構内研究 (新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発)				②	②	プール血漿:737 mL
5		JB 機構内研究 (新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発)				②	③	個別血漿:1 L

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【武田薬品工業株式会社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		武田薬品工業株式会社 自己使用 (製造プロセス改良、収率及び安全性向上などのための試験製造)				①	③	中間原料: 400L
2		武田薬品工業株式会社 自己使用 (製造プロセス改良、収率及び利便性向上などのための試験製造)				①	③	グロブリン製造工程中間体: 127kg
3		武田薬品工業株式会社 自己使用 (製造プロセス改良のための試験製造)				①	②	アルブミン製造工程中間体: 350kg
4		武田薬品工業株式会社 自己使用 (新規薬効成分探索、改良医薬品の探索的研究)				②	③	PPSB-HT 500単位製剤中間製品: 20本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの